

日本ビオトープ管理士会 ★ 平成 30 年度 第 2 回研修会

三木山森林公園 で学ぶ 「人と森林との共生」

— 生物多様性戦略の成果と課題、草地の再生を事例に —

日 時： 平成 30 年 9 月 8 日（土） 12:20~16:00

場 所： 兵庫県立 三木山森林公園（兵庫県三木市）

参加者： 23 名

主 催： 日本ビオトープ管理士会 近畿支部
日本ビオトープ管理士会

後 援： （公財）日本生態系協会



《第 1 部》 講義「三木山森林公園 生物多様性戦略の成果と課題」 （12:40~13:40）

■テーマ： 日本一の生物多様性公園を目指して

■講 師： 近藤 伸一さん

■概 要： ◆ここ「三木山森林公園」では、かつては普通に見ることのできた、東播磨地域の里地・里山の環境を公園内の一部に復元するため、ススキやチガヤを植栽し、バッタが飛び、秋の七草が咲く「草原」の創生を図った。

◆また、ツツジが咲き、野鳥がさえずり、チョウチョが舞う山道、カエルやメダカが泳ぎ、いろいろな種類のトンボが飛び交う「水辺」環境の整備を進めている。

◆平成 21 年度から本格的な整備に着手し、草原では「キキョウ」や「オミナエシ」、「カワラナデシコ」、「フジバカマ」などの「秋の七草」が順調に生育をはじめるとともに、ススキ草原内には「カヤネズミ」の棲息も確認されるようになった。

◆さらに、ピクニック広場周辺では、チョウチョの食草や花壇を設置したことで、チョウチョやトンボの生息数や種数が増加するなど、効果が表れつつある。

◆このような、生物多様性に富んだ環境を順応的に維持・管理するためには、「三木山サポーター」の協力も大きな力となっている。

◆この「三木山サポーター」は約 300 人、30 くらいのグループが月 1~2 回のペースで活動している。



《第2部》 見学「ビオトープ再生草地等の見学と解説」 (13:50~15:50)

■テーマ： 復元の進む草原、水辺の整備手法 を実地で学ぶ！

■講師： 戸田 耿介さん

■概要： ◆復元されつつあるススキ・チガヤの草原、上池・下池、水路などの水辺環境の整備手法などを実地で学び、意見交換を行いました。

◆本公園は、昭和30年代の東播磨の里山環境を復元する基本計画となる、「生物多様性戦略」に基づき、野生の生きものたちが安心して暮らすことのできる環境が整備されており、現在は植物735種、キノコ類487種、鳥類110種、昆虫類566種が確認されているそうです。



水辺を歩くバンの幼鳥



意見交換会



どんぐり谷

つつじ尾根

森の研修館

正門

茶室

森のクラフト館

イベント広場

展望休憩舎

ウッティ広場

森のバーベキュー広場

ピクニック広場

もみじ谷

森の文化館

あずまや

きのご型のあずまや

かみいけぼし

もりのさんかくぼし

大芝生広場

森の小劇場